

学生生涯

だより

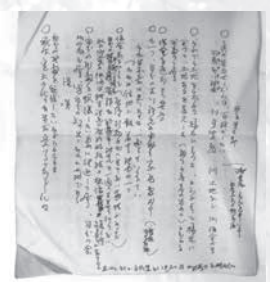
No.31

平成29年(2017)11月15日発行
発行・編集：市民学習支援課

公民館報 NO.733

図書館だより NO.461

飯山の文化財



眞の告白せしむけば
(長野県立歴史館蔵)

栗岩英治自筆のメモ書き。栗岩は外様戸野の出身で、大正から昭和初期にかけて史料調査のため全国をめぐり、歴史史料集の『信濃史料』編纂の基礎を築いた人物として知られる。経済的な苦悩や、自身の過去の著作への苦言など、赤裸々な心情を綴る。(12月10日まで、ふるさと館で展示中)

- 飯山市公民館 ☎ 62-3342
- 市立飯山図書館 ☎ 62-1118
- 飯山市美術館 ☎ 62-1501
- いしやま女性センター ☎ 62-0543
- 飯山市ふるさと館 ☎ 67-2030
- 飯山市文化交流館なちゅら ☎ 67-0311
- 飯山公民館 ☎ 62-3342
- 秋津公民館 ☎ 62-2330
- 木島公民館 ☎ 62-0555
- 瑞穂公民館 ☎ 65-2501
- 柳原公民館 ☎ 62-5562
- 富倉公民館 ☎ 67-2136
- 外様公民館 ☎ 62-1029
- 常盤公民館 ☎ 62-3200
- 太田公民館 ☎ 65-4579
- 岡山公民館 ☎ 69-2010



笑顔、きらめく。
～第38回飯山市青少年芸術祭～

展示部門825作品、舞台部門14団体が発表



力作ぞろいの展示部門

展示では市内の小中学生が製作した絵画・習字などの飯水児童生徒図工美術・習字作品選抜展作品、全825点が飾られ、2日間、約750名の来場者でにぎわいました。

また、なちゅらで開催された舞台発表では、市内の小中学校や、市内で活躍する14団体が、日頃の練習の成果を発表しました。一番最初に演奏をした城北中学校吹奏楽部から、最後のCHARMYまで、本当に素晴らしい発表でした。今年からは市内の全小中学校から1団体以上の出演がありました。出演団体の皆さんが、毎日、貴重な時間を割いて練習をしてきた成果が十分に披露され、満席となったなちゅら大ホールからは、大きな拍手が起こっていました。



きり自身を表現する姿を見ていただけでしたが、うれしいことでした。展示・発表ともに思い出の1ページを飾るにふさわしい芸術祭となりました。

常盤公民館&飯山市公民館共催 常盤、山を歩こう 鍋倉山から、深まる秋を堪能

10月14日(土)、常盤公民館と初めての共催事業「常盤山を歩こう」を開催し、小学生を含めた30名で、茶屋池、鍋倉山とん平までの約9キロを6時間かけて歩きました。行きのバスの中で、高橋常盤公民館長から、野田喜左衛門や平用水など、常盤田んぼの歴史について説明がありました。先人たちがどのよ



鍋倉山山頂にて

うにして水を引いたのかと言った話に、参加者は、興味を持って話を聞いていました。茶屋池に到着し、班に分かれてトレッキングを開始しました。前日までの雨で、辺りは霧が出ていて、足元も良いとは言えませんでした。霧のかかった景色は、とても幻想的でした。鍋倉山山頂付近では、晴れ間からの眺望に、子どもたちの「ヤッホー」のかけ声や歓声が聞かれ、常盤小の校歌を歌う姿も印象的でした。紅葉もちょうど良い時期で、参加者からは、素晴らしい景色に感動の声も上がっていました。途中で、足場の悪い所もいくつかありましたが、参加者全員がゴールのとん平まで歩き切りました。

10月29日(日)、前日から雨が降る中、第50回地区二周駅伝大会が開催されました。9時10分に山岸公会堂をスタート、地区内を一周してゴールの木島小学校グラウンドを目指しました。今年50回大会を記念して、ゼッケンを新調。デザインを統一し、各区のイメージカラーを使い作成したゼッケンを着けて木島地区を走り抜けました。50回記念大会には、18チーム、200名の選手が参加し、飯山市駅伝大会の優勝の余韻そのままに、選手や役員が皆、一緒になって、楽しみながらも熱戦が繰り広げられました。

飯山にも秋の訪れ

各公民館でさまざまな事業が開催される

雨の中を元気に走る子どもたち、最年少は小学校1年生です。普段は走っていない大人たちも、引き継いだタスキを次につなぐと、苦しいながらも必死で走っていました。子どもから大人まで一緒に走って走ることで、地域のつながり



雨天の中、50回目の地区二周駅伝開催

大切な文化財を火災や犯罪から守りましょう

市内にはたくさんの指定文化財がありますが、私たちの大切な文化遺産として将来に継承していかなければなりません。最近では、県宝・松田館(千曲市)の火災、国宝・善光寺本堂やその周辺の建造物(長野市)への落書きなど残念な事案が続いて発生しています。所有者等関係者の皆さまには、火の取り扱いなどの防火対策、盗難や器物損壊から守るための防犯対策の再確認をお願いします。



国登録有形文化財の飯山復活教会

岡山公民館歴史講演会 岡山の風土とくらし開催
先人たちの歴史や文化を学習して、
もつと岡山を好きになろう！



岡山公民館歴史講演会 岡山の風土とくらし開催
先人たちの歴史や文化を学習して、もつと岡山を好きになろう！

みんなで集まって、地域に根ざした公民館を目指して一広がる、つながる、公民館一

11月5日(日)、岡山公民館にて、講師に八十二文化財団理事の宮下健司さんをお迎えして、岡山公民館歴史講演会を初開催しました。

意外に地元の良さには気づかない。これは人間の本性が、自分のふるさとから遠くにあるものに価値を見出すということが本能的にあるからだ。地元の価値は、地元の人が一

岡山は多くの偉人を輩出した。千曲川通船を生んだのは齋藤太左衛門であり、通船は飯山藩政を支えた。桑名川に里子に出された石坂周造は、

四つがしつくりとくる。また、田んぼをやる人のことを「田人」と呼ぶ。隣の栄村はお互いに協力をして手伝うことを「見守り田人」という。人の温かさがしつかりとあるのが、この岡山の風土だと思ふ。

やがて日本で初めて石油の機械掘りをし、日本石油の1ペーヂを開いた。周造の青年期を形成したのが岡山の風土であると云える。白山神社の雄ざけの彫刻や、斗升の色彩の見事さは、当時の経済力と信仰の厚さがわかるし、名立神社の剣の舞やサイトリメンは素晴らしい。岡山各地区のドウロクジンはそれぞれに違いがあり、馬場は野沢の火祭りの原型となった。全国的にも珍しい土倉の狸大明神もある。また、入船屋の宿札から交通の要所であったことがわかる。牧時、秋に鷹の渡りの観察地となり、全国から愛好家が集まる名所で、鷹柱も見ることができ。そのほかにも、上

文化の秋、各公民館で文化祭が開催

10月21日(土)・22日(日)にかけて、各地区において文化祭が開催されました。22日(日)は衆議院議員選挙と重なった関係で、文化祭を開きながら選挙を行ったり、大型の台風21号の影響で、土砂災害や床上、床下浸水が起る中での開催となりました。各地区の文化祭では、駅伝大会が中止になるなどの影響がでました。

◆秋津

秋津地区文化祭は10月22日(日)に開催されました。衆議院選挙と期日会場も一緒にになり、1階の和室を選挙で使用しその他の部屋で文化祭を開催しました。

文化祭は、ふれあい音楽祭、作品展示、出店の3部門で構成され、ふれあい音楽祭は地区の公民館利用団体や高校生の合唱の皆さんの発表があり、



とくに松澤達弥さんのFショパン「ポロネーズ6番」とペーローベン「ピアノソナタ」よりの独奏はさすがでした。あいにくの雨でしたが、少年野球の皆さんに盛り上げてもらい、選挙に来た方にも大変喜んでいただきました。

◆木島(第54回木島地区文化祭)

10月28日(土)・29日(日)木島公民館において開催しました。美術展では、故郷を描いた絵画、視線を引き寄せる書道、創作感あふれるフラワーアートなど、力作が並び、訪れた方々は、美術館にいるようです。展示では、中学生の作品のほか、水墨画やエコクラフトなど数多くの出展をいただきました。

また、昭和58年水害時のビデオ上映や育成会によるパルンアートやニュースポーツ体験など、子どもからお年寄りまで、楽しくご来場いただきました。

作品展には多くの素晴らしい作品が展示され、大勢の皆さまにご来場いただきました。また、子ども育成会主催のトランプゲームも好評で、子どもたちが長い列をつっていました。

22日は、衆議院議員総選挙と同日開催。しかも台風による大雨が降る天気となりましたが、お餅や新米コシヒカリ、みゆきポークといった振る舞いや、出店の富倉そば、社協のバザーなど今年も大盛況。大勢の皆さんにご来場いただき、とても楽しい文化祭となりました。

◆常盤

10月29日(日)常盤地区活性化センターにて「常盤地区文化祭」が開催されました。当日はあいにくの雨模様となつてしまし、文化祭と同時に開催予定だった「NPO駅伝大会」が中止になりました。

10月29日(日)に太田公民館で開催しました。地区の方の作品展示に加え、ワークショップや踊り・オカリナ演奏などを行い、雨降りの中、多くの方に来場いただきました。

◆太田

10月29日(日)に太田公民館で開催しました。地区の方の作品展示に加え、ワークショップや踊り・オカリナ演奏などを行い、雨降りの中、多くの方に来場いただきました。



測定をして、自分の健康管理を確認していただきました。サービスマンで提供した、たこ焼きと綿あめも好評でした。29日には、食文化の会の皆さんによる、すいとんが大好評で、一人で数杯いただいた方もいて、美味しさとともに冷えた体を温めていました。また、雨の降る中、JA青年部木島支部の皆さんによる焼き鳥が、来場者のお土産に喜ばれていました。(地区一周駅伝については、23頁をご覧ください)

◆瑞穂

10月29日(日)毎年恒例の瑞穂地区文化祭が、瑞穂地区活性化センターにおいて盛大に開催されました。



10月21日(土)・22日(日)柳原地区文化祭が開催されました。

地区駅伝大会は、全11チームが激戦を繰り広げる予定でしたが、あいにくの雨のため残念ながら中止となりました。文化祭では、子どもから大人までたくさんの方々が参加された展示、会場を彩る菊展、多くの豪華賞品で賑わったビンゴゲームと大抽選会、なんと完全売れた食堂と売店、開店待ちが起るチャリティーバザーなど、多くの団体の皆様のご協力で大いに賑わい、雨が降るあいにくの天候でしたが、今年も盛大な文化祭となりました。

◆柳原

10月21日(土)・22日(日)柳原地区文化祭が開催されました。

10月21日(土)・22日(日)に外様公民館で開催しました。21日の前夜祭では、10月8日に開催された飯山市駅伝大会で健闘した選手の前さんへの地区表彰が行われました。また、公民館事業「歌を楽しく教室」参加者による外様小学校校歌の発表、保健指導委員会の健康体操、毎年恒例となった中曽根劇団による演劇「鶴の恩返し」などで、大いに盛り上がりました。



外様地区文化祭前夜祭
みゆき野ジャンジャンズ(JA女性部)「スコップ三味線」



センター内では、日赤奉仕団によるバザー、保健指導員



皆で目標に向かって進んで行く勇気が大切

飯山雪国大学公開講座 団体行動―人を創る―

10月28日(土)、飯山市文化交流館なちゅら大ホールを会場に、日本体育大学名誉教授の清原伸彦氏を迎え講演会が開催され、150名の方が聴講しました。

人は一人では生きていけない、家族があり、社会があり、企業があり、必ずリーダーがいる。人間はいかに我慢が大事かということ、自身の体験談を交えながら話されました。

個人個人の個性、人間性を活かす指導をする

小さいころから集団で遊びを始めたら、感受性、助け合のいい文化、いい情緒が養われる。集団が生きることだ。目標や目的もなく、集団行動を指導しても、生徒には面白くないし、嫌になる。指導者は、自分の思い通りに動いただけで満足してしまい、結果として、自分さえよければいいという世の中に繋がっていつてしまう。

私は父から怒られたことはない。必ず話をしたら、座り、話を全部聞いてくれた。聞いて、褒めてくれたあとに、お父さんならこう思うけどなど意見を聞いた。そして必ず「よかったね」だけではなく、「どうだった」「何がよかった」と聞いて「それはよかった」と褒めてくれた。相手の気持ちになつてから、最終的には言い聞かせているという手段を父親から教わった。

一度楽な生活を覚えた人間は元には戻らない

私は昔から、人と違うこ

とをしながら成長していった。これが、自分が成長していく中で大きなポイントとなった。人のやったことをまねしてもその人には勝てない。人のやらないことをやる知恵を持たなくてはいい。

知恵を持つためには知識が必要だ。知識をつけて学ばなくてはいい。中途半端に学ぶと、記憶に残らない。科学が進み、ほとんどの事がスマートフォンで済む時代になった。昔は、日本人は危機に強い、一致団結ができる民族だった。戦後、革靴を減らしながら顔を見てあいさつをしてきた。それが今はメールなどで、顔を合わせなくても商談が成立する。そのうちに必ずダメになる。一度楽な生活を覚えた人間は元には戻らない。私は学生に、百聞は一見にしかず百聞は一考にしかず。百考は一行にしかず。百回考えるよりも一回行動をしないといと教えている。行動の数は質を上げる。今、行動が無くなって、便利な方へと行つていく。それが子どもにまで浸透していく。きれいな川があつて、野原のある所でも外へ遊びに行かない。理由は親にある。親の言いつは、スマホまで与えていて「この世の中、さらわれたら大変だ」

と言うが、実際は、親が楽だからである。大人が一番楽をしている。

人のまねではなく、知恵をだして工夫をする

先日、大学へ講演を行ったが、人の話を聞く態度があまりない。集中力がない人は記憶力が無い。話を聞く時には、目を見て聞け。社会に出たら一発ではねられる。言われたことをやるだけなら誰でもやる。言われたことを自分なりに工夫して、上司からすごいと言われるようなもの考え方をしないといいけない。言われたこともできない人は、そのうちにはずされていく。そういう社会だということの危機感を教わらず、今だけのことしか教わらない。それを小さい頃から考えながら指導し、教えてやると、判断ができるようになる。判断は、過去のことで、現在のことで判断ができる。判断は自分でつく。過去にでたらめなことを経験してきたら、でたらめなことがいと判断をして、人を殺したりしてしまう。小さい頃から、間接的にでも、そういう社会だということの危機感を教わらない。今だけのことしか教わらない。

誰でもやればできる

できない子が息抜きをしても怒らない。できる子が息抜きをしたら、なぜ休んだのだと聞く。ちよつと苦しかったからと答えると、それがいいからと答える。できない子には、できないけどいい、一生懸命やれ、必ずできるようになる。一生懸命やっていたら、私ができるようにしてやると言う。やれば必ずできる。誰でも人間には順応性があり、順応する能力がある。ただ、見たときに初めからできないと思つたらできない、やり抜く、やり通す、できると言う気持ちでやれば必ずできる。

みんなが目標に向かって進んで行くことが、集団を活かしていくための大きな一つのポイントとなる。判断は自分でできるが、チームの決断は、リーダーがいて、監督の私がついて、これでやるぞと決めたから、勇気を持って、決めたことに向かつていくことを日頃から教えてきている。それが結果に結びついている。聴講した方からは「忙しかったが聞きに来てよかった。全てが腑に落ちるいい講演会だった」などの感想が聞かれました。



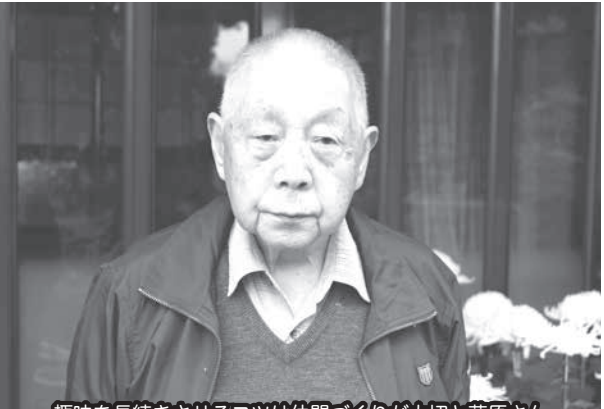
趣味に生き長生きを

飯山市瑞穂富田 萩原郁朗

★☆☆
マイオピニオン
意見・私見

平成3年、教員を退任した時、これからの人生どのように生きるかと考えた時、今までやってきた趣味を生かして人生の最後を何とか有意義に生きてみようと思った。それまで既にやってきた主なこと、そのひとつは謡曲で、今の若い人たちには人気も関心もないが、古典のひとつである謡は大変奥深い。

地元で謡謡会という謡の会があり、一緒にやらないかと誘われ、それ以前にも親戚で謡をやっている人から手ほど



趣味を長続きさせるコツは仲間づくりが大切と萩原さん

きを受け、謡の良さが少しわかっていたので入会して、20年近くやっている間に、先輩の方から、長野松風会に入るよう誘われ、平成10年頃入会した。松風会は100年以上の歴史ある会で、宗家から年に2回ぐらいテレビに出る程の先生が来て指導していただくことがあります。月1回の例会の指導も厳しく、また会の人も40人近くいて、皆ベテランであるのでついて行くのが大変だったが仲間を支えられて20年近く続けている。

もう一つの趣味は水彩画で毎週土曜日飯山市公民館で、本町の石沢邦雄先生について指導を受けている。以前にサロンドジュエという会で油絵を長くやってきた関係で最初は手法が全く逆なのでとまどったが最近ようやく慣れて楽しくやっている。

趣味を長続きさせるコツは仲間作りが大切であること、やり始めたから長く続けることだと思

「あいさつ」の大切さ

飯山公民館専門部員 水出一成

★☆☆
マイオピニオン
意見・私見

あいさつと一言で言ってもいろいろあります。「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」などなど。ですが、初めて会う方に自分からあいさつするのは、なかなか勇気がいるものです。

私も昔は人見知りで、自分からあいさつをするのは苦手でした。社会に出てこれではいけないと思い、まずは「おはようございます」から始めてみました。すると、皆さんがあいさつを返してくれるではないですか。中には立ち話をしてくれる人まで。あいさつで、嬉しい力を持っていると実感ができる瞬間でした。



趣味のバイクにまたがる水出さん

『城南・城北中学校美術部展』

両中学校美術部員 50 数名の日頃の活動の成果を紹介します。大勢の皆さんのご来場をお待ちしております！

会期 12月9日(土)～16日(土) ※休館日12日(火)
時間 9:00～22:00
※9日(土)は午後から、16日(土)は17時まで。
場所 なちゅら ナカミチ お問合せ先：飯山市美術館 電話 62-1501

大竹優 二段来たる！

飯山市公民館が開催した囲碁教室から誕生した、プロ棋士が来飯します！

・日程 11月25日(土) 13時～指導碁会開催
・場所 飯山市公民館
・内容 6面打ち、2回くらいの予定です。観戦は自由です。大勢の皆さんの来場をお待ちしています。

大竹優 (おおたけゆう)

飯山育ち。吉岡薫八段門下。日本棋院中部総本部所属。

・小学4年まで飯山市で暮らす。飯山市公民館で開催した囲碁体験教室に参加して興味を持ち、市内の子ども囲碁道場に通い腕を上げる。小学5年の時から日本棋院中部総本部の院生として腕を磨いた。平成28年度入段、29年二段(現在)。





かわいい芳香剤ができました

◆第2回「みんなであそぼう」
保冷剤で芳香剤をつくろう
10月15日(日)に小学生を対象とした、保冷剤を利用した芳香剤づくりを行いました。当日は17名の参加があり、とてもかわいい芳香剤を作ることができました。

秋津



【地区館情報】

◆学習講座「寄せ植え講座」
10月5日(木)に公民館主催の「寄せ植え講座」が11名の参加のもと開催されました。秋の宿根草を中心に、とても綺麗にでき、14日、15日に開催された「いいやま花フェスタ」にも出品し、秋津文化祭でも好評でした。



大好評でした

◆かんたん料理教室
男性でもできる豪華で簡単なメニューの料理教室を開催します。試食会も開催します。
期日 12月16日(土)16時〜
参加費 1,000円
問合せ先 秋津公民館
☎0263-23330

瑞穂

◆瑞穂地区高齢者学習会
10月24日(火)「みんないきいき、楽しく、安心・安全に暮

山本貴志ピアノリサイタル ～ショパンの名曲とクリスマスへの誘い～

長野市出身のピアニスト山本貴志氏によるピアノリサイタルを12月23日(土)に開催します。2005年、第15回ショパン国際コンクールで第4位に入賞し、世界から脚光を浴びた、今もとても期待される若手ピアニストのひとりです。

彼の得意とするショパンの名曲を中心にクリスマスにぴったりな曲を演奏します。

休日の午後、安らかなひとときを過ごしませんか。

今回は、クリスマス限定で恋人割引・夫婦割引もご用意。

ご夫婦で、恋人同士で、お誘い合わせのうえご来場ください!



【日時】12月23日(土)14:00開演(13:30開場)

【場所】文化交流館なちゅら 大ホール

【入場料】(全席指定)

一般 前売 3,000円 当日 3,500円

高校生以下 前売 2,000円 当日 2,500円

クリスマス限定【恋人または夫婦割引 5,000円】※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケットの予約、お問合せ

文化交流館 なちゅら (9:00-22:00 火曜日休館) TEL 0269-67-0311 または 67-0668

企画展 わらじ史学 ～栗岩英治の探究心と未来へのまなざし～

信州の歴史学の基礎を築いた栗岩の業績を振り返ります。

12月10日(日)まで開催中です!



没後70年、栗岩の貴重な資料を展示しています

ふるさと館 冬期間の閉館時間のお知らせ

12月1日(金)～3月31日(土)までの閉館時間が変更になります。

変更前 18時

変更後 17時 ※閉館時間30分前までにご入館ください。



■お問合せ ☎67-2030

飯山市美術館

平成29年度 後期コレクション展示

飯山市美術館では、「中川岳二展 木々の色々」「小黒三郎組み木館 ズートピア信州展」が大好評のうちに終了し、展示替えが行われました。

飯山市出身の彫刻家で没後40年の箕口博の作品を中心とした、飯山ゆかりの作家作品のコレクション展示となっております。皆さまのお越しをお待ちしております。



【休館日】毎週月曜日

【開館時間】9時～17時(入館は16時30分まで)

【入館料】大人300円・市内の小中学生は無料

【お問合せ】飯山市美術館 電話 62-1501



一緒に作りませんか

太田

◆男のための料理教室
太田公民館では、男性を対象とした料理教室を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。
期日 12月2日(土)10時〜
場所 トピアホール(五荷)調理実習室
参加資格 小学5年生以上の男性
参加費 200円
問合せ先 太田公民館
☎0265-4579

岡山

◆創作体験学習会の開催
岡山子ども会育成会・岡山公民館共催で「クリスマスツリー&リース創作体験」を開

降雪時の駐車について

飯山市公民館・市立飯山図書館・飯山市美術館・いいやま女性センター未来・飯山市ふるさと館、飯山市文化交流館なちゅらの駐車場使用につきましては、**夜間(夜10時以降)および早朝の駐車は除雪作業の妨げになりますので、ご遠慮ください。**

また、特別な理由により駐車される場合は、飯山市公民館(電話62-3342)まで申し出てください。

催します。
オリジナルのツリー&リースを創作しましょう。
期日 12月3日(日)9時〜11時30分
場所 岡山地区活性化センター
定員 20名(中学生以下)
参加費 無料
詳しい内容は、各集落の育成会長より配布していただいたチラシをご覧ください。

図書館 ニュース

◇ 図書館カレンダー ◇

12/1	金	移動図書館車②今井・西大滝
2	土	
3	日	10:30～おはなしひろば
4	月	休館日
5	火	
6	水	移動図書館車③温井・秋津
7	木	10:30～絵本とわらべうたの会
8	金	移動図書館車④太田・富倉
9	土	
10	日	10:30～ブックスタート
11	月	休館日
12	火	
13	水	移動図書館車①北原・常盤
14	木	10:30～絵本とわらべうたの会
15	金	移動図書館車②今井・西大滝
16	土	
17	日	10:30～特別版おはなしひろば クリスマスおはなしかい
18	月	休館日
19	火	
20	水	移動図書館車③温井・秋津
21	木	10:30～絵本とわらべうたの会
22	金	移動図書館車④太田・富倉
23	土	休館日(祝日)
24	日	10:30～おはなしひろば
25	月	休館日
26	火	
27	水	移動図書館車①北原・常盤
28	木	10:30～絵本とわらべうたの会
29	金	休館日
30	土	休館日
31	日	休館日

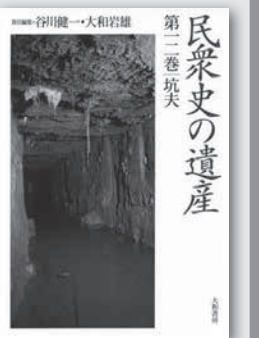
■の日は休館です。

開館時間と休館日

【開館時間】 火～金 9:30～18:00
土・日 9:30～17:00
【定休日】 月曜・祝祭日・年末年始

【市立飯山図書館 ☎62-1118】

旬の本・話題の本・意外な本 らいぶらりブックレビュー



「民衆史の遺産」第12巻 坑夫
谷川健一・大和岩雄／編

大和書房
日本の近代化を担ったエネルギー産業「炭鉱」。それを支えた「坑夫」に関する文献を収録。なかでも、『まっくら(抄)』(森崎和江・著)、『炭坑美人(抄)』(田嶋雅己・著)は、底の底まで深い回った女坑夫の生の声、姿、そして運しさを伝えている。

親子で学ぶ絵本とのつきあい

親と子の絵本講座を行いました

10月5日から26日までの毎週木曜日、「親と子の絵本講座」を開催しました。

この講座は、当館の司書が交替で「①0歳からの絵本」「②3・4歳ころの絵本」「③昔話の大切さ」「④読み物・



毎回親子で楽しみながら開催できました

科学絵本」の各テーマにそって講義を行い、4日間に延べ29組の親子に参加していただきました。

参加者からは、「たくさん絵本を紹介してもらった。早速借りたいと思いました。子どもと一緒に参加できるのがいいです。」「昔話の残酷さは大丈夫が勉強になりました。大人は背景を想像できるけど子どもは違いますよね。」等多くの感想をいただきました。この講座に限らず絵本の選び方などについては、お気軽に司書にご相談ください。また、毎週木曜日には「絵本とわらべうたの会」、第2を除く毎週日曜日は「おはなしひろば」を開催していますので、こちらもぜひご参加ください。

県図書館協会主催

もっと楽しく(絵本の先の)読み聞かせ講座開催

10月31日(火)午後1時から飯山市公民館講堂において、講師に長野市在住の元小学校教諭、堀内京子さんを迎え開催されました。

参加者は、市内の読み聞かせグループ、図書館司書等、全県から35人となりました。児童書の魅力は絵本だけではありません。子どもたちに物語の世界のすばらしさを伝える方法「なぞり聞かせ」を学びました。



「なぞり聞かせ」実習中

破れてしまった本が もしも、借りた本が

本を汚したり破損してしまつたら、お手元にある市販のセロテープなどで修理せずに、そのままの状態でご覧いただく。カウンターへお持ちください。



破損等の状況によっては弁償をお願いすることもあります。破れた部分全体が残つていれば、図書館職員が修理専用のテープやのりを使用し修理します。セロハンテープは時間が経つと劣化し、かえって資料を傷めてしまいます。

近隣市町村、各団体の 広報あります

図書館には、栄村広報のほか、今年度から近隣市町村(中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村)の広報を郷土資料として収集保存されていますのでご利用ください。

また、各種団体(農業協同組合・農業共済組合・森林組合・土地改良区)の広報も郷土資料として収集保存されていますのでご利用ください。

図書館で公衆無線LAN利用できます
図書館3F多目的室で公衆無線LANが利用できるようになりました。ご利用の際はパスワードが必要となりますので、カウンターまでお問い合わせください。

特別版! おはなしひろば クリスマスおはなし会を開催します

「クリスマスおはなし会」を次のとおり開催します。

日時 12月17日(日)

午前10時30分から

場所 図書館3階多目的室
催事の内容は、パネルシアターや手あそび、おどきな絵本などの楽しい企画をたく



さん用意しています。事前の申し込みは必要ありませんので、大勢の皆さまのご参加をお待ちしています。ぜひ、親子と一緒においでください。

紙芝居の書架を 移動しました

6月の蔵書点検で大活字本やヤングアダルト、マンガの書棚を変更しましたが、今回、紙芝居の書棚を窓側に移動し、書棚を追加しました。出っ張りがなくなつて、移動がしやすくなりました。



すっきりした紙芝居書棚

「岡山村史」 「太田村史」寄贈のお願い 「富倉郷土誌」

図書館では「岡山村史」「太田村史」「富倉郷土誌」を所蔵していますが、だいぶ古くなつていきますので、今回各1冊を求めています。寄贈が可能な方がおりましたら図書館までご連絡をお願いします。

「岡山村史」一九六二(昭和36)
飯山市公民館岡山支館発行
「太田村史」一九五四(昭和30)
太田村史刊行会発行
「富倉郷土誌」一九二七(昭和12)

新着図書案内

趣味・実用

シングル女性の貧困 小杉 礼子
母親に、死んで欲しい NHKスペシャル取材班
マンガでわかる無機化学 齋藤 勝裕
美しい鉱物と宝石の事典 キンバリー テイト
狭心症・心筋梗塞 三田村 秀雄
「ぜんそく」のことがよくわかる本 松瀬 厚人
詳しくわかるひび・股関節の痛みと安心生活 宗田 大
図解食卓の薬効事典 池上文雄
その調理、9割の栄養捨ててます! 豊庭 伸
都市をたたむ 日本経済新聞社
宅配クライシス 森 俊憲
大人女子のための続く筋トレ 西原 理恵子
女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと

よみもの

双生児 折原 一
森へ行きましよう 川上 弘美
ミステリークロック 貴志 祐介
愛のかたち 岸 恵子
武士マサムラ 今野 敏
猫ヲ捜ス夢 小路 幸也
千の扉 柴崎 友香
高架線 滝口 悠生
花になるらん 玉岡 かおる
千夜と一夜の物語 仁木 英之
百貨の魔法 村山 早紀
酒が仇と思えども 中 島 要
僕は口ポットごしの君に恋をする 山口 悠介
毒母ですが、なにか 池波 正太郎
蘇える鬼平犯科帳 吉本 ばなな
吹上奇譚 第1話 吉本 ばなな

郷土
長野県誕生! 長野県立歴史館
秘境滝を行く 篠原 元
古諏訪の祭祀と氏族 古部 善太郎
SL飯山線の記憶 1・2 木村 善郎
鶴と亀 鶴と亀編集部